

市民と福祉をむすぶ

かけはし

第242号

2024
8月

■編集発行／社会福祉法人養父市社会福祉協議会 〒667-0022 養父市八鹿町下網場320（地域交流センター「福祉の杜」）
 令和6年8月15日発行 ■電話 (079) 662-0160 ■FAX (079) 662-0161 ■E-Mail: info@yabu-shakyo.jp
 ■ホームページ <https://www.yabu-shakyo.jp/>
 ◀「社協Instagram」QRコード



よ〜くねらって薪割りチャレンジ

ナツフェスプレーパーク in YBファブ

ハンマーでたたいて薪を割る置き型薪割りや木の魚釣りなど
森の木を使ったあそびを体験することもたち



7月14日、「YBファブ」のナツフェス！2024」がやぶ市民交流広場（YBファブ）で開催。社協も「ナツフェスプレーパーク」のブースを設け、75組257人の参加がありました。

雨空のなか、市内中高ボランティア部や高校生・地域ボランティアが各コーナーのあそびをサポート。

高橋安奈さんと名城干鶴さんを講師に迎えた森のひろばコーナーでは、木をつかってあそぶ体験を実施。ほかにもしゃぼん玉や水でつぼうあそびなど、家ではなかなかできないあそびを親子が一緒になって楽しみました。

防災特集

自分の地域を知り、災害に備える

福祉防災マップ

6月24日から7月11日の間、養父市内で福祉委員会を開催しました。区長、民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、福祉委員、消防団など延べ837人が参加し、福祉防災マップの更新作業を行いました。今号では養父市における福祉防災マップの取り組みを紹介します。



△消防団員も参加し、マップの更新作業を行いました
(=令和6年7月4日、養父公民館)

「福祉防災マップ」とは

養父市社は、平成22年度から養父市の委託を受けて「福祉防災マップ」作りを全ての校区で実施しています。

このマップは、「防災」と「福祉」に関する情報を掲載し、毎年6月から7月に開催する地区（校区）福祉委員会で住民自ら作成・更新しています。

どんなことを更新するの？

マップの作成・更新作業の内容は次の2点です。

①要援護者情報の確認

災害時に支援の必要な人（要援護者）を確認します。要援護者は事前に本人やその家族の申請で登録され、災害等の緊急時に必要な支援者数に応じて3種類のランクに分類されます。高齢者や障がい者、乳幼児など、さまざまな方が登録をしています。

②区内の指定緊急避難場所、防火水槽、消火栓、AED設置場所などの確認

養父市が指定する避難場所や地域資源（自動販売機やAED設置場所など）の情報を確認・共有します。例年、第1回の地区（校区）福祉委員会で地域の消防団も参加し、要援護者情報や危険箇所、消防関連設備などを確認します。

「地域力」こそ「防災力」

福祉防災マップの更新作業をとおして自分の地域を知り、災害だけでなく地域課題についての意識も高めていきます。

吉井区長の井上徹さんは「更新を

すすめるなかで、区内にひとり暮らし高齢者や高齢夫婦世帯も増えている状況がわかりました。食事や買い物に困っている世帯も多く、何か取り組めることはないだろうかと思います」と区の実情を話しました。

近年、台風による水害や土砂災害の被害が多く聞かれます。市民一人一人が防災へ関心を持つことが養父市全体の防災意識を高めることにつながります。改めて災害への備えについて考えてみませんか？

災害が起きる前にできること

- ・身の回りの災害リスクを知る
 - ・指定緊急避難場所、指定避難所の確認
 - ・食料、飲料などの備蓄、非常持ち出し品の確認
 - ・家族の安否確認方法を決める
- ☆養父市のホームページで各区の避難場所や「子育て世代の防災ガイド」などの防災情報が掲載されています。ぜひご活用ください。



頻発する災害への備え

近年、全国的に大規模な自然災害が頻発し、各地に甚大な被害が発生しています。養父市でも台風被害が続いているほか、養父断層帯の地震発生による被害も予想されており、これまでに以上に防災への取り組みが必要と考えられています。

今回は、養父市危機管理監の坂本龍二さんと危機管理室次長の津崎宏行さんに防災についてお話を聞きました。

養父市で起こりうる災害被害について

津崎 風水害にも気をつけなければいけません。養父市でも大地震の危険性があります。2005年の調査では養父断層帯（活断層）で今後30年以内に0.45%の確率で、最大震度6弱の揺れが起こると言われ、県内で250棟を超える建物が全壊すると予想されています。

防災のポイントはなんですか

津崎 まずは「自助」として各自での備えです。水害については、養父市防災マップなどで事前に危険箇所を調べ、避難経路の確認、早めの避難などが重要です。また、地震では家具の下敷きになり脱出できないこともあるため、家具の固定なども効果的です。

坂本 停電や断水に備え、「備蓄」も大切です。大災害が発生した場合、救助活動が最優先となり、発災後3日間ほどは物資供給も滞りがちになります。そのため、3日分の食料や水などの備蓄が必要になります（水は一人あたり1日3リットルが目安）。

などの公助は遅れます。普段からつながりがある地域では近隣住民の情報を把握しており、互いに助け合う傾向にあります。そのため、近所づきあいは大切にしてほしいです。

また、被災後にうつ症状がでる方が増えますが、平時から人のつながりが強い地域では、症状が軽減され、回復が早まるというデータもあります。

要援護者の支援について

津崎 養父市では、市社協が主催する地区（校区）福祉委員会で住民自ら「福祉防災マップ」の作成・更新を進めていただいています。この取り組みは、住民が区内のことや要援護者のことを把握したり情報共有したりして、普段からの見守りや助け合いの意識を高め、災害時の備えにもなっています。

この活動は、先進的でとても素晴らしい取り組みです。

養父市一斉避難訓練に向けて

津崎 積極的に子どもから高齢者まで多くの方に参加いただきたいです。そして、交流を深めつつ防災力を高めてほしいです。また、ライフラインが止まったことを想定して、家族でどう生活するかなど話し合い、考えてみていただきたいです。

坂本 訓練でできないことは本番ではできません。普段から災害時のイメージを持ち、考え、訓練に参加してもらいたいです。避難については過度に難しく考えず、早めの避難を心がけましょう。公民館など安全な場所に集まり顔を合わせることで、安心して過ごすことができると思います。

「福祉の社」
（11月18日、地域交流センター）
▶ 防災・減災について思いを語る養父市役所危機管理室の坂本危機管理監（右）と津崎次長（左）



災害に強い地域とはどのようなところですか

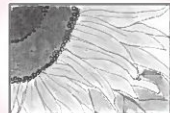
坂本 地域のコミュニティや人とのつながりが強い地域です。大災害になるほど消防や警察

▶講師の長谷川れい子さんの説明を熱心に聞く参加者



今月の

地域だより



思いをつなげるふれあい郵便

絵手紙教室開催!

養父市社協では、80歳以上のひとり暮らし高齢者に、書き手ボランティアや市内の学生が書いたはがきを郵便局の配達員が手渡しで安否確認をする「ふれあい郵便事業」を行っていま

す。
7月23日、八鹿老人福祉センターで、八鹿地域の書き手ボランティアグループ「ふれあいペンクラブ」が絵手紙教室を行い、メンバー8人が参加しました。
この絵手紙教室は、技術の向上とメンバー同士の交流のために開催しており、今回で3回目です。

講師の長谷川れい子さん(豊岡市)は「絵手紙は上手に書くこととかわなくてよいです。心を込めて描けば気持ち伝わりやすい」と説明。参加者は真剣ながらも



▲真剣に絵手紙を描く参加者

和気あいあいとした雰囲気
で絵手紙を描きました。
参加者の山下和子さんは「楽しかった。誰とも比べずに描くことが大切だと言われたことが心に響きました」と話しました。
ふれあい郵便はちょっとした隙間時間にできるボランティアです。興味のある方は社協各支部までお問い合わせ下さい。

令和6年能登半島地震災害義援金 171万8,417円 (7月18日現在)

養父市社会福祉協議会では、令和6年能登半島地震で被災された方々への災害義援金を募集し、1月4日から7月18日にかけてたくさんの個人や団体からご協力をいただきました。お預かりした義援金は被災された方々への支援に活用されます。引き続き温かいご支援をお願いいたします。



のぞみ歌友会実行委員会様よりチャリティーコンサート「ふれあい歌う仲間の祭典」(6月2日開催)での参加者からの義援金15万円を寄附していただきました(=6月5日、地域交流センター「福祉の杜」)



うちげえのアートおおや+(プラス)実行委員会様より「第30回2024うちげえのアートおおや+」(6月28日~30日開催)でのチャリティー作品販売の売上金3万円を寄附していただきました(=7月4日、地域交流センター「福祉の杜」)

養父市善意銀行だより

令和6年6月16日〜令和6年7月15日（敬称略）

預託者のご了承をいただいた方のみ寄附金額を掲載しています。養父市善意銀行へ寄附金の預託をされた方は寄附金控除を受けられる場合があります。詳しくは事務所までお問い合わせください。

▼亡夫供養

・天子 田中すず子

・蔵垣 上垣きよの

・蔵垣 上垣きよの

・大屋市場 上垣 潤子

▼亡母供養

・大屋市場 上垣 潤子

・十二所二 圓山多津美

▼供養志

・十二所二 圓山多津美

・香典返し

・朝来市 故藤原 伸一

株式会社関西互助サービス

・生前厚意へのお礼

・下網場 故岡田ちせ子

・富田林市 瀬原 正昭

・善意の寄附

・富田林市 瀬原 正昭

・養父市社協職員

・匿名 10,000円

・匿名 5,000円

・匿名 5,000円

・匿名 5,000円

・匿名 5,000円

・匿名 5,000円

・匿名 5,000円

・匿名 5,000円

・匿名 5,000円

・匿名 5,000円

▼福祉用具借用お礼

・匿名 3,000円

▼物品の寄附

・椿色 井上喜太郎

おしりふき、プラスチック

クエプロン

・下八木 田村 安夫

絵本、デコレーターキッ

ト、スツール

・広谷二 秋山ひろ子

封筒、切手

・大屋市場 上垣 潤子

紙おむつ

・中間 上垣 巖

ふき、らつきよう、べに

花

・関宮 宮岡 秀司

紙おむつ

・匿名 8人

紙おむつ、おしりふき、

じゃがいも、切手、はが

き、ウエットティッシュ、

レトルト食品ほか

▼サロンそよ風指定預託

・匿名 シルバーカー

▼フードバンク事業

・コープこうべ

協同購入センター但馬

レトルトご飯、炭酸水、

コーヒー、麦茶、菓子ほ

か

・おおよスポーツセンター

パックご飯、レトルト食

品、乾燥スープほか

◆寄附金 29万3,570円

●ありがとうございました。

兵庫県善意銀行をとおして

株式会社四国銀行から

車いす2台を寄贈



▶地域住民への貸出や福祉学習などに幅広く活用します

養父市結婚相談所のご案内

ウエル えん とも こん ◆WEL♥縁♥友♥婚

※毎月第2・第4日曜日に開設する結婚相談（無料）

素敵な出会いを探しにきませんか？

お気軽にご相談ください

- 開設日 8月25日（日）、9月8日（日）
9月22日（日）、10月13日（日）
- 時間 13：30～16：00
- 場所 ウエルシア養父上箇店「ウエルカフェ」
（養父市上箇66）
- 問い合わせ先
ハートやぶ事務局（養父市社会福祉協議会本部）
電話：079-662-0160/FAX：079-662-0161
E-mail：info@yabu-shakyo.jp

弁護士による無料法律相談 13:30～16:30

先着6人の予約制となっていますので、事前に電話でお申し込みください。

- 期 日 令和6年9月18日（水）
- 場 所 大屋保健センター
- 相談時間 1人30分程度
- 申し込み先 養父市社協本部
☎ 079-662-0160

子育てサロン 放課後プレーパークの案内

市内の子育てサロン、放課後プレーパークなどの情報はQRコードをチェック！



QRコードを読み込むと詳しい情報が表示されます

みんなの手話教室 第50回

『色』に関する手話②

手話は、手指の動きや表情、動作などで表す目で見える言葉です。耳が不自由な人とのコミュニケーションだけでなく、様々な場面で広がっています。八鹿手話サークルの小林八重子さんに、色に関する手話を教わりました。

あなたの浴衣、オレンジ色の水玉がかわいいね

【あなた】 	【浴衣】 	【オレンジ色】 	【水玉】 	【かわいい】
相手を指さす	うちわであおぐ様子(夏)	胸の前で右手の甲に左手の手のひらを重ねる(着物)	右手で指文字「お」をつくり左右に振る(オレンジ)	つまんだ両手の指先を合わせ、絵の具のチューブをあけるようにひねる(色)

【関連用語】 いろんな色

【黒色】 	【むらさき色】 	【銀色】 	【水色】
右手の手のひらで髪をなでる	右手の指文字「む」をくちびるに沿って右へ引く	右手の人差し指で歯を指して、左へスライドする(白)	右手の手のひらを上に向け、上下しながら左から右へ動かす(水)

まめ知識

但馬地域では【かわいい】を下のように表現する場合があります



小指を立てた左手の上で右手を回す

わたしのつぶやき

あんな～あ



ペンネーム「ののた丸」さんからの「まいとくれんせえ」

珠洲市災害救援のお話

6月15日、16日に石川県珠洲市の災害救援ボランティアに参加しました。ガタガタの道路、飛び出すマンホール、曲がった電柱、崩れた家屋…。被災地域を実際に目の当たりして大きな衝撃を受けました。

活動内容は家財の運び出しです。依頼を受けたお宅に訪問しご家族の思い出に触れながらお手伝いをさせていただきました。思い出の品を処分しなければ

ならないことに胸を痛めましたが、復興が思うように進まないなか、新しい生活に向かって奮闘する方々の姿に力をもらいました。

発災から時間がたち、報道されることも少なくなりましたが、現地はまだまだ大変な思いをしています。被災地に思いを寄せ様々な形で支援が続いてほしいと思います。

市民のみなさんからの心安らぐエピソードやちょっといい話、ちょっとこれ見という写真を掲載するコーナーです。



★前回の答えは『災害』でした
宮元 敬子さん(諏訪町)
山根 優さん(宮町)
山本 唯さん(九鹿)
以上3名の方が当選されました。
おめでとういっしょに。

■応募先 〒667-0022
養父市八鹿町下網場320
「福祉の杜」内
養父市社会福祉協議会
FAX 6620161

■応募方法 QRコードかはがきまたは、FAXに答えと住所、氏名、フリガナ、年齢、電話番号、「かけはし」をお読みになったご意見・ご感想をご記入の上、ご応募ください。正解者の中から抽選で3名さまにQuoカード500円分を贈ります。いただいた個人情報、当コーナー以外の目的には使用しません。

応募はこちら



応募先 QRコード

系山会

■ヒント 4ページ〇〇教室
バラバラになった文字を組み合わせて3文字の言葉を作ってね。

分割パズルでクオカードが当たる!